

# ASSET MANAGEMENT

## アセットマネジメント事業



先進技術分野や海外への投資を拡大させるとともに、国内においては地域金融機関への支援を強化

### 主要企業

中間持株会社：SBIキャピタルマネジメント

SBIインベストメント	SBI Ventures Malaysia
SBI FinTech Incubation	SBI貯蓄銀行
SBI VEN CAPITAL	SBI Investment KOREA
SBI Hong Kong Holdings	SBI Royal Securities
思佰益(中国)投資有限公司	SBI Thai Online Securities
SBI & TH (Beijing) Venture Capital Management	SBI Bank
	BNI SEKURITAS

中間持株会社：SBIグローバルアセットマネジメント

モーニングスター	SBIエナジー
SBIアセットマネジメント	SBIゴールド
SBIボンド・インベストメント・マネジメント	SBIエステートファイナンス
SBI地方創生アセットマネジメント	

### アセットマネジメント事業における 主な事業分野別の通期業績(IFRS)

プライベート・エクイティ投資等に係るアセットマネジメント事業  
SBIインベストメント及び傘下のファンド等 (億円)

	2017年3月期	2018年3月期
収益	107	472
税引前利益	41	409

海外金融サービス事業

SBI貯蓄銀行等 (億円)

	2017年3月期	2018年3月期
収益	522	631
税引前利益	61	134

資産運用サービス事業

モーニングスター等 (億円)

	2017年3月期	2018年3月期
収益	43	73
税引前利益	14	22

### 2018年3月期の主な取り組み・今後の重点戦略

#### 投資事業

- FinTech分野や海外への注力投資が業績拡大に奏功
- ブロックチェーン分野の投資において世界トップクラスの評価を獲得(CB Insights調べ)
- FinTechファンドの次の基幹ファンドとなるSBI AI&Blockchainファンドを設立
- 前年度に引き続きCVCファンド設立に注力し、新たに三井金属鉱業(株)やハウス食品グループ本社(株)、(株)SUBARUを加え累計7社と共同設立

#### 海外金融サービス事業

- 韓国のSBI貯蓄銀行は過去最高益を達成
- ロシアのSBI BankはFinTechの取り込み等により本格的な金融サービスの展開を目指す

#### 資産運用サービス事業

- モーニングスターはモバイルに最適化した仮想通貨情報アプリ「My 仮想通貨」をリリース
- SBIアセットマネジメントがR&Iファンド大賞2018「総合部門」で最優秀賞を受賞
- 企業価値の向上が見込まれる地域金融機関に投資する「SBI地域銀行価値創造ファンド」を設定
- 地域金融機関との共同出資により資産運用会社「SBI地方創生アセットマネジメント」を設立

## 地域金融機関への支援を通じた価値創造

SBIグループでは、地域金融機関とのアライアンス強化を通じ、地方創生に寄与する好循環をサポートしています。

SBIグループは企業価値向上が見込まれる地域金融機関に投資する「SBI地域銀行価値創造ファンド」を2018年1月に設定しました。当ファンドは機関投資家を勧誘対象とした私募の投資信託であり、出資については現金出資に加えて投資対象となる地方銀行の現物株式での出資も可能です。現金出資及び現物株式の出資ともに、追加の購入申込を毎月受け付け、最大1,000億円規模までファンドサイズの拡大を見込んでいます。投資先となる地域金融機関へは、日本アイ・ピー・エム(株)との合併で設立したSBI FinTech Incubation等を通じたFinTechの導入・支援等を通じて企業価値向上を支援します。当ファンドの活用により、地域金融機関における相互の株式持ち合いの解消にもつながり、地域金融機関におけるガバナンスの強化や資本の有効活用にも貢献してまいります。

更にSBIグループが有する経営資源を活用した、地域金融機関との共同出資による資産運用会社「SBI地方創生アセットマネジメント」を2018年3月に設立しました。既に参画行は16行(2018年6月末現在)にまで増加しています。顧客預り資産運用と自己資金運用の両面から出資元の地域金融機関をサポートするとともに、各行の運用実務を担う人材育成も支援し、地域金融機関の資産運用力の向上に貢献してまいります。

## グループ運用資産の拡大に注力

SBIグループの資産運用会社であるSBIアセットマネジメントの2018年3月期における投資信託への資金流入超過額は、前期比14.7倍と投信業界全体の3.2倍を大きく上回ったほか、世界最大級の債券運用会社である米PIMCO(ピムコ)社との合併で設立したSBIボンド・インベストメント・マネジメントにおいても運用資産残高は順調に拡大しています。

またプライベート・エクイティについても、各種新ファンドの設立を活発化させています。2018年3月期ではAIやブロックチェーン分野を主な投資対象としたベンチャーキャピタルファンドSBI AI&Blockchainファンドを設立したほか、新たに三井金属鉱業(株)、ハウス食品グループ本社(株)、(株)SUBARUを含む累計7社と500億円のCVCファンドをこれまでに設立しました。

こうした取り組みにより、投資信託等とプライベート・エクイティ

等合わせたSBIグループの資産運用額は2018年3月末現在で前年比1.7倍の8,468億円にまで急拡大しています。今後、M&Aや合併会社の設立等を通じ、一層の運用資産の拡大を図ります。

## 収益化が進む海外金融サービス事業の拡大

SBIグループにおける主要な利益源の一つに成長している韓国のSBI貯蓄銀行のように、海外における金融サービス事業は成長余力のある事業分野といえます。2017年8月に完全子会社化したロシアの商業銀行SBI Bank(旧YAR Bank)では、SBIグループの投資先FinTechベンチャー企業との提携等を通じて、革新的で顧客便益性の高い商品・サービスを提供してまいります。更に法人事業については、ロシア極東開発省の傘下団体「極東投資誘致・輸出支援エージェンシー」や北海道総合商事(株)と提携し、ロシアへのビジネス進出を検討している日本の中堅・中小企業に対して、事業展開のノウハウに加え、融資・預金・為替・決済などの金融サービスを合わせて提供できる一貫したサービスを構築してまいります。

また、今後も高い経済成長が期待される東南アジア地域では、インドネシアにSBIホールディングスのジャカルタ駐在員事務所を開設したほか、フィリピンにおいても拠点設立の準備を進めています。東南アジア地域においては、Eコマース企業とFinTechベンチャー企業の双方に投資し、両社のシナジー創出等による飛躍的な成長が期待できることから、シンガポール、マレーシアに設立している現地法人とも連携し、事業拡大を図ってまいります。SBIグループは「日本のSBIから世界のSBIへ」を目指し、今後も海外金融サービス事業を強化してまいります。

## SBIグループの投資・EXIT実績

